

令和6年度 2年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
情報	情報Ⅰ実習	2	2	2年次

使用教科書	副教材等
「最新 社会と情報」(実教出版) ※1年次に使用したもの	プログラミング入門Python編(数研出版) ※1年次に使用したもの

科目の目標
1 情報やメディアの特徴を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現し、適切な方法で発信できるようになる。 2 効果的にコミュニケーションを行う能力を身に付ける。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解し、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱えるか。
② 思考・判断・表現	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現できるか。
③ 主体的に学習に取り組む態度	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとするか。

評価方法
授業への取り組みの観察、プリント等への記述の点検・確認・分析、定期テストや提出物、作品等の内容を観点別に総合して評価する。

学習計画						
月	単元名	使用教科書 項目	単元や題材など内容の まとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	情報とメディア ・情報とメディアの特徴 ・情報の信憑性と信頼性 ・受信者/発信者としての留意点	メディアとデザイン	・情報とデータの違いや、情報の特徴について理解する ・メディアの特徴や分類、適切な利用方法について理解する ・情報の信憑性と信頼性を評価できる ・受信/発信時の留意点を理解し、適切な方法で情報を発信・処理できる	○		
5	【実習①】CM制作 ・CM分析 ・デジタル機器の使い方 ・絵コンテの作成 ・撮影、編集 ・評価、反省		・目的を達成するためにはどのような表現が適切か考え、実践する ・受信者の立場になって作品を評価・改善できる ・複数の表現メディアを組み合わせた表現しかたを身に付ける ・デジタルビデオカメラなどの情報機器を使いこなせるようになる		○	○
6 7	【実習②】学校紹介 動画制作 ・目的の明確化 ・絵コンテの作成 ・撮影、編集 ・評価、反省			○	○	○
9	【実習③】プレゼンテーション ・テーマと内容の選定 ・スライド制作 ・リハーサル ・プレゼンの実施 ・評価、改善、反省	問題解決とその方法	・聞き手に訴えかけるにはどのような表現が適切か考え、実践する ・説得力のあるプレゼンができる ・受信者の立場になって作品を評価・改善できる ・計画的に活動を進める	○	○	○
10 11	【実習④】Webページ制作 ・目的の明確化 ・コンテンツの選定 ・素材集め ・HTMLファイル作成 ・評価と改善	Webデザイン	・目的を達成するためにはどのような表現が適切か考え、実践する ・UIやUDを考慮したWebページを作成する ・受信者の立場になって作品を評価・改善できる ・計画的に活動を進める	○	○	○
12 1 2	【実習⑤】プログラミング ・基本的な考え方 ・Pythonでのプログラミング ・(応用)作品の制作	アルゴリズムとプログラミング	・様々な動作を、一つ一つの動作に分解して考えられる ・簡単なアルゴリズムを理解する ・Pythonプログラミングができる	○	○	○